

「辞書のゆくえ」の特集にあたって

編集部

今日、時代の急速な変化によって、我々を取り巻く環境にも大きな変化が起こっている。IT技術の飛躍的な向上によって、世界中の情報を共有することができるようになり、様々な分野におけるポータルレス化が進んでいる。また同時に、いつでもどこでも情報を取り出せるというモバイル化も進み、その影響は単に生活様式といった次元に止まらず、言語や文化といった、我々の予想をはるかに超える次元にまで及んでいる。

このことは、辞書を取り巻く環境にも大きな変化をあたえ、語彙的に見れば、例えばIT関連の用語が飛躍的に増えているし、いわゆる外来語も、それと分らない形で普通に使用されている。近年、それらに対応した用語辞典や新語辞典が相次いで出版されているが、それでも時代の変化になかなか追いつけないのが現状であろう。

また、例えば電子辞書の出現は、利用者に多大な利便性をもたらすと同時に、様々な可能性を我々に示してくれた。近年の普及率には目を見張るものがあり、今では学生

も普通に購入し使っている。収録辞典の種類も増え、また各種機能も充実するなど、使う側からいえばますます便利になってきているが、辞書を編集する側からいっても、改訂や増訂を容易に行えるなど、従来の紙辞書にはない特質を持つており、その対応を考える必要が出てきている。

さらに、英語辞典の分野でいち早く導入されたコーパスの活用は、他の分野にも広がり、語彙のデータベース化を含めて、電子データをどのように扱っていくのかということも、辞書にとつての大きな課題となっている。

このような情勢のもと、例えば日本の中国語辞典について言えば、近年の中国語学習熱の高まりや企業の中国進出が急増する中、様々な特色を持つ辞典が相次いで出版され、その充実ぶりには驚かされる。しかし一方で、辞書をめぐる諸問題を公の場で議論する機会は、最近まであまりなかった。

今回の特集はその点を強く意識したものであり、中国語辞典を中心に、辞書の抱える様々な問題を具体的に示すと

ともに、それらの解決策も同時に考え、さらには語彙の電子データ化といった新しい問題も検討するなど、辞書の現状から今後のあり方を考えるものとなっている。

座談会は、中国語辞典の問題点を編集者の立場から話つたもので、辞書編集の難しさがご理解いただけるだろう。

また、辞書のあり方に対する提言もなされている。荒川清秀論説は、中国語学習辞典の問題点を多面的な角度から指摘しており、書評でも取り上げられている新著とともにお読みいただければと思う。山崎直樹論説では、理想の中国語辞典について、ユーザの視点から考察しており、辞書編集者にとって参考になるばかりでなく、辞書のあり方を考える場合に、このような視点からの検証が不可欠であろう。清原文代論説は、実際に使用している人もよく知らない電子辞書の各種機能について解説したもので、表題にもある「辞書で遊ぶ」楽しさが伝わってくる。電子辞書の可能性にさらに注目していく必要がある。

辞書の出版大国である中国の状況については、その全貌を知ることは難しいものの、今回の周薦・楊世鉄論説および尹学義論説によつて、中国語辞典と日本語辞典については現状を知ることができる。ここでは、それぞれの辞書の出版状況や研究動向などが紹介されているが、前者で指摘されている辞書に関するいくつかの問題点は、日本の中国語辞典と直接かわるものであり、我々も留意しておかね

ばなるまい。徐一平論説は、コーパスの構築とその応用について、日本語および中国語の分野における動向が紹介されているが、特に「中日対訳コーパス」の構築は、今後の辞書編集や教育への応用が期待され、この分野の研究の更なる進展が望まれる。薛豹報告は、中国の辞書最新情報であり、電子辞書など日本との比較でおもしろい。

沖森卓也論説は、日本の国語辞典について、二冊の小型辞典を実際に比較することにより、その特徴と問題点を明らかにしたもののだが、使用者も辞典の特徴を踏まえた上で使い分ける必要があるという指摘は、すべての辞書に共通したものである。宮畑一範論説は、コーパスの研究成果がいち早く取り入れられた英語辞書について、学習者向けの辞典を使い具体的に示したもので、コーパス利用の利点と問題点がよくわかる。そこで指摘された問題は、中国語辞典のコーパス活用にも相通するものである。石田卓生論説は、東亜同文書院の中国語教材を詳細に検証したもので、その独自の中国語教育からは、後に華日辞典の編纂を指すに至る理由の一端も窺えて興味深い。

今回の特集は、辞書とは言うものの中国語辞典を中心とした限定的なものであり、辞書全体の将来を考えるものではない。しかし、そこで指摘されている問題は、今後の辞書のあり方への貴重な提言となっており、このような検討を継続的に行っていく必要があるだろう。

(安部 悟)